

令和2年1月18日

## 令和元年度第9回生涯学習センター理事会議事録

日 時：令和2年1月15日（水）18時30分～20時00分  
会 場：生涯学習センター事務所（府士会事務所 常盤セントラルビル301号）  
出席者：千葉理事長、中川副理事長、井阪局長、芳本局長、射場局長  
欠席者：金尾監事  
陪席者：村西理事（大阪府理学療法士会副会長）  
書 記：木村

### 【議題】

#### 1. 承認事項

##### 1) 前回の議事録について

令和元年度第8回理事会議事録について、資料参照の上、承認された。

#### 2. 報告事項

##### 1) 各局事業進捗（1月分）

井阪事務局長より、総務部では令和元年末までの講師料納税に係る支払調書の手続きを開始し、次月にその確認を実施する予定。広報では引き続き各研修会のHP掲載と次月にはSNSの活用について部会を開催し検討する予定であると報告があった。

芳本教育局長より、学術編集部では論文作成及び査読委員選抜の準備と投稿・執筆規定作成中であり、現在雑誌名を募集している。また、倫理委員会設立についても調査を行っているとのこと。次月には会誌創刊までのスケジュールの確認と規定集の作成、また査読委員の選定と広報の方法について検討する予定。臨床実習教育部では、1月22日の情報交換会の案内を12月5日に大阪府下22養成校に郵送し現在14名（9校）の参加申し込みがあったとのこと。研修理学療法教育部では新プロ未修了者への通知対策として、Facebook、士会ニュース、センターHPを活用し履修を促進する予定であると報告があった。

射場生涯学習局長より、生涯学習局としては12月に実施されたセミナーをもってすべての事業が終了。今後について、受託研修部では協会主催の研修会（認定理学療法士）の申請とその対応、研修部では事業セミナー登録作業と認定・専門理学療法士受験にともなう問い合わせ及びポイント確認作業、また講師依頼文章及び各種修了証の手配を行っているとの報告があった。

##### 2) 新プロ未修了者対策 Facebook について

千葉理事長より報告があった。新プロ未修了者の履修を促す方策として、センターHP、facebookの利用と、2月に開催される新人発表会の会場で配布することについて報告があった。理事からは、新プロ講習料の振り込みについての告知も併せて行う意見があった。

##### 3) 学術誌編集部での検討内容について

芳本局長より現在の学術編集部の活動について資料の通り進捗報告があった。

#### 3. 審議事項

##### 1) 令和2年度事業計画及び事業予算について

井阪局長より、各局の修正点を加え最終的な来年度の事業予算計画について説明があり審議の結果承認された。なお、今年度事業は6月総会にて決算とし、本件の執行はそ

れ以降となる。

- 2) 【継続審議】 門田守人先生を講師に招いての研修会開催について  
射場局長より説明があり、審議の結果継続審議となった。理由は、本研修会是他団体と共催で開催することを予定としているが、生涯学習センターでは未だ共催についての規定がなく、先に規定を定めてからの決議とする。
- 3) 受託研修部協会協力員としての扱いについて  
射場局長より説明があった。各局部員との公平性について理事から指摘があり、審議の結果、未承認となった。
- 4) 新プロ講習料の徴収について  
芳本局長より、新プロ修了申請を円滑にするため、来年度からは受講費支払い期間を『研修会開催日から2週間以内』に変更することについて説明があった。審議の結果、承認された。

#### 4. 懇談会

なし

#### 5. その他

なし

## 大阪府理学療法士会生涯学習センター 理事会議題

## 【報告】

提出者	千葉 一雄	職名	理事長
議題	新人教育プログラム未修了対策特別委員会 Facebook 公開は2020年1月15日以降 <a href="https://www.facebook.com/pg/shinnpuro/posts/">https://www.facebook.com/pg/shinnpuro/posts/</a> < <a href="https://www.facebook.com/pg/shinnpuro/posts/">https://www.facebook.com/pg/shinnpuro/posts/</a> >  情報内容 1) 2021年4月からの新生涯学習制度 ※入会年度と必要取得ポイントによる新制度履修方法 2) 2020年度新人教育プログラム開催予定日 3) e-ラーニングによる取得方法  添付資料：2部		
内容及び 提出趣旨			
理事会での 意見・内容等			
審議結果	承認		
	対応部局または理事氏名 千葉 一雄 理事長		
備考			

## 大阪府理学療法士会生涯学習センター 理事会議題

## 【審議】

提出者	芳本康司	職名	教育局長
議題	次年度、新プロ受講費支払い期間の変更について		
内容及び提出趣旨	現状の受講費振込は1月6日～1月31日の1ヶ月間となっています。 2019年度までにある程度単位履修が済んでおり、最短で2020年の5月に単位履修が完了した場合、速やかに新プロ修了申請を行えるよう配慮するため、2020年度からは、受講費支払い期間を『研修会開催日から2週間以内』に変更したく考えております。 ご審議のほどよろしくお願い申し上げます。		
理事会での意見・内容等			
審議結果	承認		
	対応部局または理事氏名 芳本 康司 局長		
備考			

## 大阪府理学療法士会生涯学習センター 理事会議題

## 【審議】

提出者	井阪 美智子	職名	事務局長
議題	令和2年度事業計画及び事業予算について		
内容及び提出趣旨	標記の件について、資料を提出いたします。 本年度事業の決算を待たずに、来年度事業予算を提出することになりますが、各局・部からの要望をほぼ満たした事業予算配分となっております。ご審議のほどよろしくお願い致します。		
理事会での意見・内容等			
審議結果	承認		
	対応部局または理事氏名 井阪 美智子 局長		
備考			

## 大阪府理学療法士会生涯学習センター 理事会議題

## 【審議】

提出者	射場 一寛	職名	生涯学習局長
議題	門田守人先生を講師に招いての研修会の開催について		
内容及び提出趣旨	<p>門田氏は、医師養成の観点から診療参加型臨床実習の充実を図ることを目的に、医師教育における臨床実習において実施する医行為の実態を探り、<b>必須項目</b>（臨床実習中に実施が開始されるべき医行為）と<b>推奨項目</b>（臨床実習中に実施が開始されることが望ましい医行為）に分けて整理した。</p> <p>診療参加型臨床実習を進めていく上で重要な考え方と思われ、学生指導に関わる教員、および臨床実習指導者に知っていただきたく開催を企画したい。審議お願い致します。</p> <p>講師 門田守人先生（日本医学会 会長） 主催 （一社）大阪府理学療法士会生涯学習センター 研修部 （一社）日本リハビリテーション臨床教育研究会</p>		
理事会での意見・内容等			
審議結果			
	対応部局または理事氏名 射場 一寛 局長		
備考	運営にかかる費用について、会場費は無料でお借りできる場所を探し、また、（一社）日本リハビリテーション臨床教育研究会から補填していただきたいと考えます。		

## 大阪府理学療法士会生涯学習センター 理事会議題

## 【審議】

提出者	射場 一寛	職名	生涯学習局長
議題	協会認定必須研修会の運営に、受託研修部部員を協会協力員として1名配置する件		
内容及び提出趣旨	<p>もともと、受託研修部は当日の運営に関与しないようになっているようですが、部員を5名に増員したことにより、当日運営の管理も可能になるかと思われ、受託研修部の部員が当日の責任者として運営してもらいたいと考えます。</p> <p>役割：運営マニュアルを受託研修部が把握し、公募された運営スタッフを統括する。</p> <p>ただし、協会協力員となるため、協会から旅費、日当が支給される。</p>		
理事会での意見・内容等			
審議結果			
備考	対応部局または理事氏名 射場 一寛 局長		

## 報告事項（学術誌編集部検討内容）

### 雑誌概要について

- ・タイトルは募集し、それを踏まえ学術誌編集部で決定し理事の承認を得る。
- ・若手は研究論文よりも総説を読みたがるため、総説を掲載するのもよいのではないか。
- ・どこの学会も学会発表は多いがその後論文投稿がほとんどなく困っている。昨年の学術大会では94演題（口述72演題、ポスター22演題）が発表されており、目標としては学術大会にエントリーされた研究発表の中から数多くの演題が論文化され投稿されることである。
- ・査読付きというのが掲載論文の質の裏付けになるため、その旨を投稿規定にも記載しておく。
- ・オンラインジャーナルであり、研究成果を全国的に広く公表する意味で閲覧無料としたい。
- ・投稿の条件としては、著者または共著者の中に府士会の会員が含まれていることとする。

### 査読委員について

- ・査読委員会は常設せず、編集部で査読者候補をリストアップ（内諾をもらっておくのがベスト）しておき、投稿があった場合には候補者の中から選び査読依頼をかけていく。
- ・雑誌発刊時にその号に掲載された論文を担当した査読者全員をまとめて査読委員として掲載する（査読付の雑誌であることを明示するため）。

### 投稿募集について

- ・府士会ニュース、生涯学習センターホームページで随時募集の案内を行う。
- ・投稿は、初期はEメールでの投稿とする。いずれは投稿サイトを立ち上げ、生涯学習センターホームページからリンクできるようにしたい。

### 倫理審査委員会について

- ・協会の倫理審査を基に大阪版を作成していく。倫理審査は本雑誌への投稿が条件となる。
- ・大阪で実施するにあたっての検討事項は、下記のようなものになる
  1. 倫理審査会は学術誌編集部の下部組織とするのか？
  2. 申請者は「所属機関の長」とするか、「研究代表者」とするか？
  3. 審査員は複数名(20名程度)を抱えておいて依頼毎に選定するのか、3名(以上)を固定して毎回審査会に出席してもらうのか？
  4. 審査にあたり、審査料の徴収はするのか？
  5. 倫理申請の事務(受付や申請者との連絡)は学術誌編集部で行うのか？
  6. 審査員に謝礼や交通費は支払うのか？
  7. 審査会の意見に基づく審査結果の責任を生涯学習センター理事長が負う形でよいのか？
  8. 倫理教育研修の受講方法などは日本PT協会のHPへ誘導する形でよいのか？  
([http://jspt.japanpt.or.jp/shinsa/shinsa\\_education.html](http://jspt.japanpt.or.jp/shinsa/shinsa_education.html))
- ・8に挙げた倫理教育研修の受講が必須となるが、生涯学習センター主催の研修会で倫理教育研修を開催し、その受講でも良いと思われる。